



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場取引所 名

上場会社名 太陽化学株式会社
 コード番号 2902 URL <http://www.taiyokagaku.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当兼企業統括部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山崎 長宏
 (氏名) 増川 尚利
 配当支払開始予定日

TEL 059-340-0802
 平成26年12月9日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	18,820	4.1	1,064	△7.3	1,246	△3.4	781	△5.0
26年3月期第2四半期	18,072	6.6	1,148	△7.5	1,289	9.1	822	15.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,226百万円 (13.3%) 26年3月期第2四半期 1,082百万円 (53.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	39.92	—
26年3月期第2四半期	42.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第2四半期	40,336		32,245		77.9	
26年3月期	39,195		31,292		77.9	

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 31,407百万円 26年3月期 30,536百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	14.00	22.00
27年3月期	—	8.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,200	2.4	2,200	9.1	2,300	1.0	1,400	0.1	71.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	23,513,701 株	26年3月期	23,513,701 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	3,935,386 株	26年3月期	3,935,286 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	19,578,383 株	26年3月期2Q	19,578,492 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和により円安・株高傾向が進み、企業収益や雇用環境に改善の動きが見られ、緩やかな景気回復基調にありますものの、海外景気の下振れリスクなど、先行きについては不透明な状況が続いております。

当事業の主要分野であります食品業界におきましては、消費税率引き上げ後の個人消費が伸び悩む中、円安による輸入原材料の高騰やエネルギー価格の上昇など、経済環境は、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中で当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、引き続き対処すべき課題として

- ①市場変化への対応
- ②販売の強化（グローバル化）
- ③品質管理体制の維持・強化
- ④環境への取り組み
- ⑤人材育成
- ⑥業務改善による全体最適化

を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、188億20百万円（前年同四半期比4.1%増）となりました。

営業利益は、原材料価格の高騰、エネルギーコストの上昇により10億64百万円（前年同四半期比7.3%減）となりました。経常利益は、為替相場の変動による為替差益を計上いたしました12億46百万円（前年同四半期比3.4%減）となりました。四半期純利益は、7億81百万円（前年同四半期比5.0%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次のとおりであります。

■ ニュートリション事業

医療、健康食品及び飲料業界等にカテキン（緑茶抽出物）、テアニン（機能性アミノ酸）、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。

水溶性食物繊維は国内、欧米市場の医療、健康食品用途が増加いたしました。

カテキン（緑茶抽出物）は、国内の飲料、サプリメント用途やアジア市場のサプリメント用途が増加いたしました。

ミネラル製剤は、欧米市場が伸張いたしました。

テアニン（機能性アミノ酸）は、米国市場のサプリメント用途が堅調に推移いたしました。

ビタミン製剤は、堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は、33億45百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益は、3億77百万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。

■ インターフェイスソリューション事業

乳製品、飲料、菓子、パン、加工油脂等の業界、及び化粧品、トイレットリー業界等に、乳化剤、安定剤等の食品素材、品質改良剤を製造、販売しております。

乳化剤は、一般食品用乳化剤、化粧品、トイレットリー用乳化剤は前年並みに推移いたしました。飲料用乳化剤は、低調に推移いたしました。

安定剤は、医療食用途、惣菜用途が増加いたしました。

この結果、売上高は、62億48百万円（前年同四半期比3.0%増）、営業利益は、6億66百万円（前年同四半期比8.3%減）となりました。

■ アグリフード事業

乳製品、飲料、菓子、パン、ハム・ソーセージ、即席めん、農産加工業界等に、鶏卵加工品、たん白素材、即席食品用素材、フルーツ加工品、農産加工品等の食品素材、品質改良剤を製造、販売しております。

鶏卵加工品は、粉末卵、液卵加工品ともに伸張いたしました。

即席食品用素材は、堅調に推移いたしました。

フルーツ加工品は、ヨーグルト用途が伸張し、パン用途は前年並みに推移いたしました。

この結果、売上高は、91億78百万円（前年同四半期比5.2%増）、前期に引き続き原材料価格の上昇が影響したことにより、営業利益は、16百万円（前年同四半期比16.8%減）となりました。

■ その他

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は、48百万円（前年同四半期比17.9%減）、営業利益は、3百万円（前年同四半期比76.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して11億40百万円増加して、403億36百万円となりました。主な資産の変動は、受取手形及び売掛金の増加11億88百万円、商品及び製品の増加6億18百万円、投資有価証券の増加3億61百万円、現金及び預金の減少10億97百万円です。

また、負債は前連結会計年度末に比較して1億87百万円増加して80億91百万円となりました。主な負債の変動は、支払手形及び買掛金の増加5億75百万円、短期借入金の減少2億72百万円、未払法人税等の減少1億40百万円です。

純資産は前連結会計年度末に比較して9億52百万円増加して322億45百万円となりました。これは主に、当四半期純利益7億81百万円の計上、その他有価証券評価差額金の増加2億44百万円、為替換算調整勘定の増加1億18百万円、配当金支払2億74百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の77.9%から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法につき期間定額基準を継続適用するとともに、割引率の決定方法につき割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付債務のデュレーションを基礎に決定する方法（退職給付債務のデュレーションに対応するスポットレートを単一の加重平均割引率とする方法）に変更いたしました。

また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はございません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,812,702	4,715,292
受取手形及び売掛金	8,928,878	10,117,382
商品及び製品	2,906,425	3,525,304
仕掛品	372,357	378,072
原材料及び貯蔵品	2,430,315	2,484,513
その他	485,906	634,855
貸倒引当金	△18,383	△29,292
流動資産合計	20,918,202	21,826,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,111,517	4,993,309
土地	6,044,516	6,034,799
その他(純額)	2,699,328	2,664,652
有形固定資産合計	13,855,362	13,692,761
無形固定資産		
のれん	77,628	69,501
その他	169,276	194,152
無形固定資産合計	246,905	263,653
投資その他の資産		
投資有価証券	2,880,850	3,242,565
その他	1,329,055	1,329,132
貸倒引当金	△34,605	△17,950
投資その他の資産合計	4,175,300	4,553,747
固定資産合計	18,277,569	18,510,163
資産合計	39,195,771	40,336,291

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,854,038	5,429,118
短期借入金	430,244	157,890
未払法人税等	524,814	384,186
賞与引当金	233,336	309,243
その他	1,118,621	939,607
流動負債合計	7,161,056	7,220,045
固定負債		
退職給付に係る負債	100,223	108,903
役員退職慰労引当金	357,355	335,175
その他	284,556	427,057
固定負債合計	742,134	871,135
負債合計	7,903,191	8,091,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,918,677	7,918,677
利益剰余金	17,937,131	18,444,668
自己株式	△3,533,281	△3,533,356
株主資本合計	30,053,149	30,560,610
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	373,685	618,017
繰延ヘッジ損益	2,243	505
為替換算調整勘定	129,262	248,175
退職給付に係る調整累計額	△21,738	△19,614
その他の包括利益累計額合計	483,452	847,082
少数株主持分	755,978	837,417
純資産合計	31,292,580	32,245,110
負債純資産合計	39,195,771	40,336,291

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	18,072,041	18,820,201
売上原価	14,266,513	15,042,651
売上総利益	3,805,528	3,777,549
販売費及び一般管理費	2,657,308	2,713,075
営業利益	1,148,219	1,064,473
営業外収益		
受取利息	11,760	17,718
受取配当金	22,266	22,514
持分法による投資利益	3,977	-
為替差益	80,628	131,250
助成金収入	12,053	10,130
その他	42,780	53,828
営業外収益合計	173,467	235,442
営業外費用		
支払利息	18,780	13,777
貸与資産減価償却費	7,381	7,234
持分法による投資損失	-	30,514
その他	5,762	2,026
営業外費用合計	31,924	53,553
経常利益	1,289,762	1,246,362
特別利益		
固定資産売却益	-	29,003
特別利益合計	-	29,003
特別損失		
固定資産除売却損	3,865	25,780
特別損失合計	3,865	25,780
税金等調整前四半期純利益	1,285,896	1,249,585
法人税等	422,705	408,970
少数株主損益調整前四半期純利益	863,191	840,615
少数株主利益	40,872	59,142
四半期純利益	822,318	781,473

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	863,191	840,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,549	244,388
為替換算調整勘定	161,517	118,105
退職給付に係る調整額	-	2,123
持分法適用会社に対する持分相当額	21,926	21,308
その他の包括利益合計	218,992	385,926
四半期包括利益	1,082,183	1,226,541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	992,818	1,145,103
少数株主に係る四半期包括利益	89,365	81,438

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュートリシ ョン事業	インターフェ イスソリュー ション事業	アグリフード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,225,723	6,064,929	8,722,939	18,013,591	58,450	18,072,041
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,225,723	6,064,929	8,722,939	18,013,591	58,450	18,072,041
セグメント利益	388,058	726,922	20,347	1,135,328	12,891	1,148,219

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュートリシ ョン事業	インターフェ イスソリュー ション事業	アグリフード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,345,344	6,248,587	9,178,262	18,772,194	48,006	18,820,201
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,345,344	6,248,587	9,178,262	18,772,194	48,006	18,820,201
セグメント利益	377,721	666,745	16,935	1,061,402	3,071	1,064,473

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。